

令和3年度 南部地区自治会長情報交換会

地域防災について

—自分たちでできることから始める—

鳩岡自治会長

地域防災について

天災は忘れた頃にやってくる

(随筆家：寺田虎彦の言葉)

関東大震災(大正12年)を経験してできた言葉

今は、いつ大災害が起きてもおかしくない!!

まさに天変地異 !!

地域防災とは!!

- ・ 自分たちの住む地域の安心・安全は自分たちの手で…
- ・ 地域の特徴を知ることによって地域に合った災害対策を立てる…

地震

津波

地域防災を考えると、基本となるもの

- 「人を知る」 : どんな人が住んでいるか。人口も違えば、年齢層も違う
- 「地域を知る」 : 地形や気候も異なる
- 「災害を知る」 : どんな災害が起きるか、過去の災害例を調べる

豪雨

土砂崩れ

地域特有の災害情報を知るにあたって山口市
配布のハザードマップは非常に有効である

自主防災を立ち上げる

佐山地区の自主防災会の立ち上げ 平成20年5月、佐山地区自主防災会を立ち上げる

自主防災会立上げのきっかけは

- ① 昭和17年8月の「周防灘台風」：佐山の海岸地区で44名の犠牲者が出た
被災地、新地開作に「受難の碑」建立(平成5年)
- ② 平成11年の「台風19号」による瀬戸内沿岸の高潮災害
- ③ 平成21年7月の「中国・九州北部豪雨災害」 など



自主防災会とは

自主防災会とは「自分たちの地域の安心・安全は自分たちの手で」という自覚と連帯感に基づいて自主的に結成する組織であり、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行う。

自主防災活動の基本は

地域住民のつながり、いわゆる地域コミュニティの中での取り組み
大事なことは「自助」・「共助」・「公助」… 命を守るネットワークづくり

「自助」：自分の身の安全は自分の努力によって守る

「共助」：近隣の人々が互いに協力し合いながら、防災活動に取り組む

「公助」：市・県など自治体による公的支援



「自助」「共助」「公助」
機能的につながることによって被害の
軽減を図ることができる

鳩岡自治会における防災活動

鳩岡自治会の紹介

○会員戸数：140

○会員数：約400人

○自主防災組織編成員

自治会長とは別に、防災のトップとして防災リーダーを中心に組織

本部役員：防災リーダーを中心に4名(自治会長含む)

本部・情報収集班：班長さんを中心に10名

消防・救助班：30名(私設消防団を中心に編成)

給食・救助班：14名(民生委員、福祉員、医療経験者が中心)

合計：58名

活動内容の紹介

1. 定期的な避難訓練の実施
2. 講師を招いての防災講座や研修会
3. 夜回り活動
4. 防災標語の募集と表彰
5. 小学校での防災学習に参加：防災紙芝居の上演
6. 火災報知機の設置状況の確認：12自治会一斉に実施

1. 避難訓練の実施

毎年秋に避難訓練を実施

- ・ 佐山地区が訓練を実施(隔年)するときは合同訓練に参加
- ・ 災害時、一人も見逃さない運動(民生委員・児童委員の取り組み)の継承
- ・ 「災害時地域支えマップ」の活用：1人の要配慮者に対して2名の支援体制
- ・ 災害時弱者(要配慮者)の安否確認・避難支援の実施：民生委員・福祉員の支援
- ・ 地区民同士の協力・連帯感の醸成

※実例：9月6日、台風10号への対応(交流センター・各自治会避難所開設)



2. 防災講座・研修会

防災講座・研修会

- ・ NPO法人「ぼうぼうネット」の山崎隆弘氏を招いて防災講座「そのとき、どうする」… グループ分けしての議論
- ・ 子ども参加型にする … 分かりやすく
- ・ 救命・救急訓練、消火訓練の実施



3.4 夜回り活動 ・ 防災標語

3. 夜回り活動：

- ① 2014年から開始：自主防災組織の「消防・救助班」を中心に34名で活動
- ② 地域の活性化を考えたとき、何が出来る：地域と連携し、地域防災につながる活動
- ③ 子どもを参加させる工夫：夏休みの期間、子どもたちに「体験夜回り活動」として呼びかけ



4. 防災標語：

- ① 地域住民の防災意識を高める活動：2015年から始める
- ② 家庭内で防災について考えるきっかけに
- ③ 子どもたちの地域防災への参加：夏休みの課題発表の場



「三十年度 防災標語・表彰作品」

一、最優秀賞…一作品

〔佐山地区防災委員発表〕

作品…避難指示!! まだ大丈夫 その油断が命取り

七班 藤田 享子

二、優秀賞…四作品

〔自治会発表〕

作品…自主避難 早めの行動 命を守る 一班 栗本 加代子

〔防災リーダー賞〕

作品…次世代へ 家族でつなぐ 防災意識 三班 津川 麗華

〔活性化委員発表〕

作品…避難情報 書きく行動 助かる命 三班 大門 善文

〔活性化委員発表〕

作品…自主防災 日頃の訓練が 実を結ぶ 五班 水澤 麗子

三、佳作…三作品

作品…避難訓練 熟知するほどに身を守る 三班 大門 博

作品…防災は みんなの力の 集まりだ 四班 小林 空矢

作品…あわてない しっかり守ろう 自分の命

五班 田中 孝治 (小四)

5. 小学校の防災学習に参加

— 紙芝居を上演 —

- ・ 2014年5名で「鳩岡一座」を旗揚げ：紙芝居披露活動を開始
- ・ 地域と小学校が一体となった防災教育の取組み：地域と教育の連携
- ・ 「防災アドバイザー」と連携：子どもたちを防災に興味・関心を持たすこと
- ・ 言葉だけでなく、視覚も取り入れた防災学習を



課題・今後の展望

1. 自然災害は防ぐことはできない：災害を減らす(減災)の意識で取り組む
2. 地域住民の防災意識を高める努力：防災講座・研修会の開催
3. 避難訓練は継続することが大事：大変だけど、地域防災力は向上する
4. 訓練や講座は、近隣同士の触れ合い、つながりの場になる
…「共助」「近助」の醸成
5. まず家庭内で防災意識の共有：避難場所や避難方法など家庭内で話す

こ あん し き
居安思危

・安きに居りて危うきを思う

し そく ゆう び
思則有備

・思えば則ち備えあり

ゆう び む かん
有備無患

・備えあれば憂いなし

※ 孔子の編纂と伝えられる『春秋』の代表的な注釈書のひとつ、防災や危機管理の心構えを表現した成語である。

地域防災について

おわい

佐山 鳩岡自治会